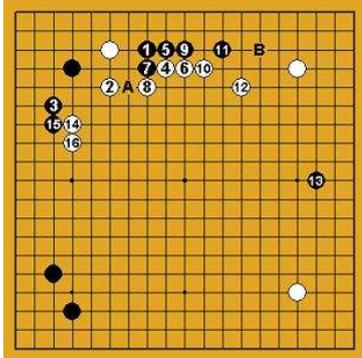
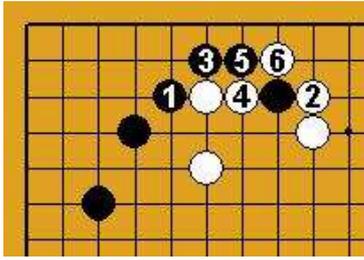


星に小ケイマガカリ 一間バサミ 6



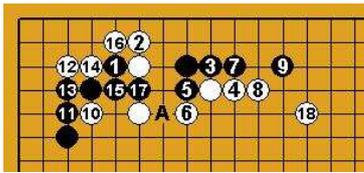
基本図 2

最後に「基本図 2」の③小ゲイマウケの場合はどう
違って来るのか見てみましょう。一般的に言って一
ケントビウケは隅に弱く、小ゲイマウケはカタツキ
に弱いと言われます。この定石の場合もまさにこの
ことが当てはまります。⑬フリウチまでは「基本図
1」と全く同じ。ここで白は A ボーツギと黒 B を交
換していましたが、今度は簡単に打ってくれませ
ん。⑭カタツギを打ってくる公算大です。この意味
は A のキズを自然に解消して B に廻ろうというもの
です。こうなっては黒はたまったものではありません。
そこで黒は最初に戻って考え直さないといけま
せん。



変化図 2 - 1

コスミツケです。一ケントビウケの場合は、このコスミツケは廃案になったのですが、今回復活です。隅の味がまるで違うので復活したのです。この図なら黒十分です。そこで白の方も考え直してきます。



変化図 2 - 2

②と受けるのです。③から⑨と打ってAハネコミを狙ってきた時に⑩トビツケを用意していました。小ゲイマだから打てるのです。⑪と受けるしかなく（⑩の右にハネコム手もあるが良くならない）⑫から⑬で隅は白地となりました。しかし黒も⑭とツキヌイで白の壁は薄く、黒十分打てます。